



杉の子保育園 杉の子第2保育園 杉の子第3保育園 杉の子あびっく保育園

保護者の皆様には日頃より保育運営に関しご理解、ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

令和7年度保護者アンケートでは心温まるコメントや励ましのお言葉もたくさんいただき職員一同感謝の気持ちでいっぱいです。また、厳しいご意見やご要望もいただきました。貴重なご意見を大切に受け止め改善に努めて参りたいと思います。

園の行事や参観について



毎回楽しみに参加している。子どもの成長がみられて嬉しいというご意見をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。

保育園ではご家族の皆様楽しんでいただくことも、もちろんのことではございますが、一番は子どもたちの育ちと取り組みの過程を大事にしながら行事や参観を計画しています。

参加ご家族の人数に関して特に運動会で、増やしてほしいというご要望をいただいております。非常時の安全対策として運動会の人数制限をさせていただいてきました。クラス数や園児数の減少もあり、検討して来たところではあります。運動会に関しては戸外であることや主に競技を見ていただくことが中心となり、災害時における誘導も示しやすいという観点で、今年度より緩和していきたいと思います。但し、保育参観に関しては現行通り各家庭1名とさせていただきます。保育室で行う参観が主で、園児の数より大人が多くなってしまうと、子どもたちもいつもの活動ができなかったり、緊張したりといった姿が想定できます。また緊急時の避難誘導などでも子どもたちの安全を守り切れない場合もありうるかもしれません。安全計画に基づいた避難誘導を優先させていただくためにもご理解のほどよろしくお願いいたします。なお、遊戯室での発表や卒園式・入園式などは現行通り2名の参加です。合わせて、昨年からお知らせしております通り、園行事は平日に行う方向で考えております。今後、動画配信などで大勢のご家族にご覧いただけるよう対応はしていきたいと思います。

行事の案内に関しても1か月前をめどにご案内していきたいと思います。4月・5月の行事に関しては小学校や他機関とのすり合わせで余裕のない場合もありますが、ご参加・ご協力よろしくお願いいたします。



園児に対する職員の対応について



安心して預けることができた。話しやすく相談しやすかったというお言葉も多くいただき、お子さんの育ちを共有できたことを嬉しく感じています。

しかしながら、一方的に叱られた、トイレに行かせてもらえなかった、園児に対し威圧的な話し方や叱り方をしていたというご指摘もいただきました。

各自を振り返り全職員が私事とし、真摯に受け止めてまいります。お子さん同士の喧嘩やトラブルに関しては、それぞれの思いを汲み取り対応することを念頭に保育をしております。しかし、子どもたちの思いを理解しきれていなかった点や感情的な姿があったということに関しては保育者としての技術・資質の不甲斐なさを実感しております。命を守る・安全を守るという点では厳しく指導させていただく場面もありますが、アンガーマネージメントや傾聴など保育の研修をしたり、お互いに注意しあったりして研鑽を積んでいきたいと思ひます。

子どもたちはとても寛容で大人を受け入れてくれます。それに甘えず、お子さんやご家族の皆様が安心して笑顔でいられる保育園であるよう務めて参りたいと思ひます。

職員自己評価・園評価について



保育園では職員一人一人が自己評価を行い、保育の振り返りを行っています。また職員全員が積極的に研修を受け研鑽に努めています。子どもたちへの言葉かけはどうか？保育計画や記録は子どもたちの成長にむすびついているか等各分野について振り返りを行うことで、目標設定を行ったり課題に気づいたりしながら、必要な学びを深め、保育の質の向上に努めています。

また、保護者アンケートやご意見ご要望をもとに園の運営や保育についての見直しを行う中で、行政による監査を受け、自園の運営や保育内容についてご指導いただき、適性な保育計画・運営を行っています。更に、子どもたち一人一人の人権を尊重し、安全・安心で信頼される保育園を目指し努力してまいりたいと思ひます。

少子化や保育士不足、AIの普及と目まぐるしく変わる社会情勢の中、子どもたちの最善の利益を第1に今後も精進し、親子2世代・3世代と地域に根差した子育ての拠点となれるよう努めてまいりたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。



R7年度保護者アンケートにご協力をいただいた皆様ありがとうございました。

毎年保護者アンケートを踏まえ、園運営やお願いなどを検討し、先日もお便りを配信させていただきました。今後も子どもたちにとっての最善の利益を第1に保護者様と連携していきたいと思ひます。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。